

# 女子大生が海外留学中に遭遇したトラブル

～楽しく安全な留学生活を送るために～



女性の健康で安全な留学を支援する研究会  
Women's Happy Study Abroad

# はじめに

あなたの渡航の目的はなんですか？

語学を学びたい！  
専門分野を深めたい  
現地の文化を生で感じたい！  
現地の人と仲良くなりたい！  
将来の就職に活かしたい！  
海外で働きたい！  
自分が一人で通用するかチャレンジしたい！

皆さんそれぞれ目的があって留学をめざされると思います。  
そして、これを読んでくださっている皆さんは  
もうすでにその第一歩を踏み出されていると思います。  
そんな皆さんが健康で安全に留学を楽しく送り、  
自身の目的を達成できることを願ってこの冊子を作りました。

この冊子は、わたしたちが2016年から始めた研究で  
帰国した元留学生の皆さん、  
日本の留学生を送り出す大学の教職員、  
北米の日本人を受け入れておられる大学の教職員から  
お話しいただいたエピソードを集めて作成しました。  
実際にあった話ではありますが  
いくつかの話のエッセンスを取り出したり組み合わせたりしています。  
また、設定も少しアレンジしてあります。  
いずれも留学を経験した人や海外生活を送った人からは  
“あるある話”と受け止められるものばかりです。

もちろんあまりに怖がってどこへも行けない  
だれとも付き合えない  
なんてことになってほしくはありません。  
いつもと違う環境の中  
考え方も感じ方も異なる人たちを  
よく知ってつきあえるように  
ぜひともこの話を参考に  
していただけたらと思います。

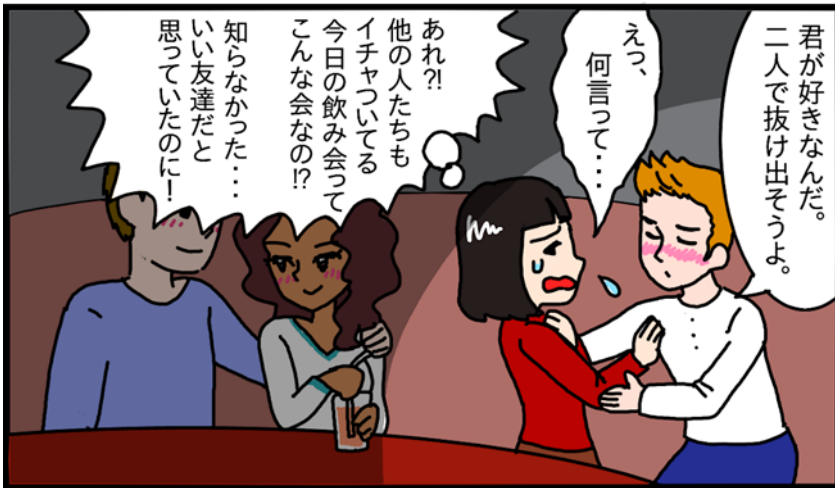
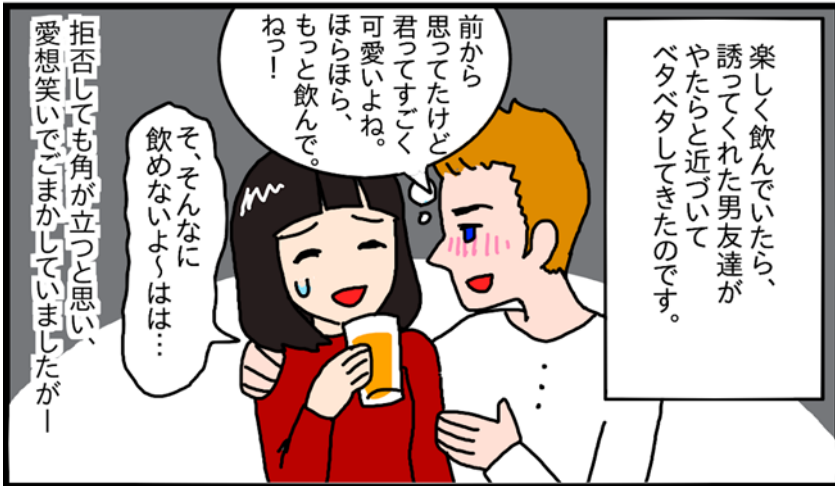
皆さんの留学がハッピーなものになりますように！

話にくいエピソードを後に続く女性のためにと、  
ご協力くださった皆様に心より感謝申し上げます。

# 目次

はじめに	P1
目次	P2
1. お酒の席でしつこくされて	P3
2. 友だちだと思っていたのに	P4
3. 車に乗せてもらったら	P5
4. 彼に避妊(コンドーム)を頼んだら	P6
5. ホームステイ先のパパ	P7
6. どうしてこんなに束縛するの?	P8
7. 憧れのインターンシップで	P9
8. フィールドスタディの現地スタッフ	P10
9. まさかの敵は日本人(その1) 頼りになる相談相手と思ったのに	P11
10. まさかの敵は日本人(その2) 狭い日本人社会でセカンドレイプ!?	P12
11. まさかの敵は日本人(その3) 検査はどこで受けられる?	P13
相談窓口	P14

# 1. お酒の席でしつこくされて



友だちをつくりたい！  
勉強も遊びも充実させたい！  
せっかく留学するのだから当然ですよ。でも、お酒の誘いには十分注意が必要です。  
こちらはその気がなくても相手に（性的な）誘いに乗ったと誤解されることもあります。相手も酔って気分が高揚します。最悪の場合、ドラッグ（薬物）を混入されて意識もうろうの状態にされることも！

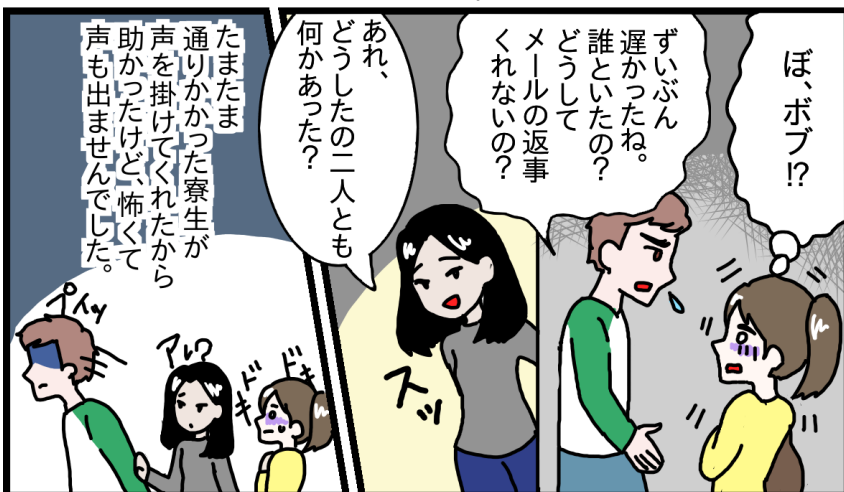
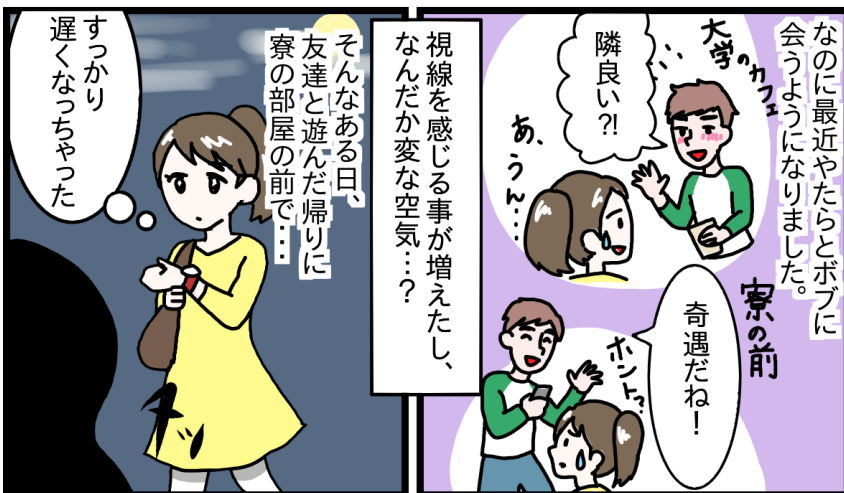
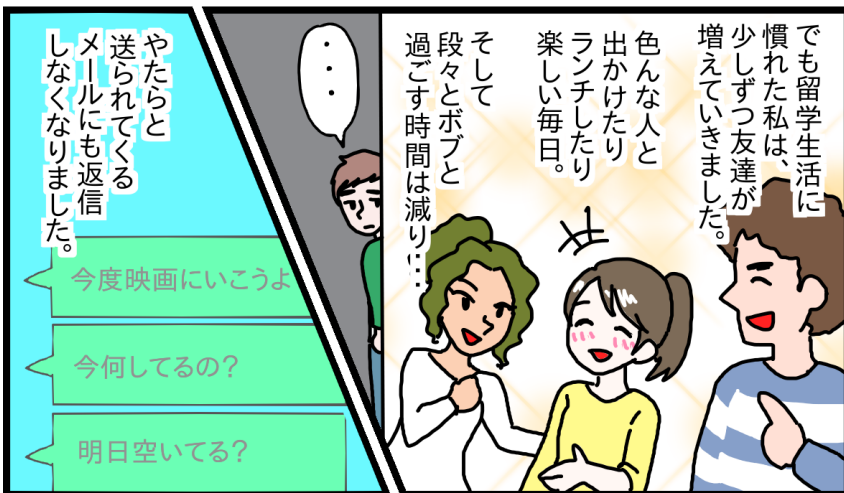
## ✓ チェックポイント

- ◆ お酒の席へはできるだけ信頼できる同性の友達数人と。
- ◆ 慣れるまでは現地の事情をよく知る人と行った方が良いでしょう。
- ◆ 相手をあまりよく知らない段階で少人数のパーティは避けた方が無難です。
- ◆ パーティの主催者や参加者を把握しておきましょう。
- ◆ 自分の飲み物からは目を離さないようにしましょう。席を立った後は新しい飲み物を頼みましょう。





## 2. 友だちだと思っていたのに



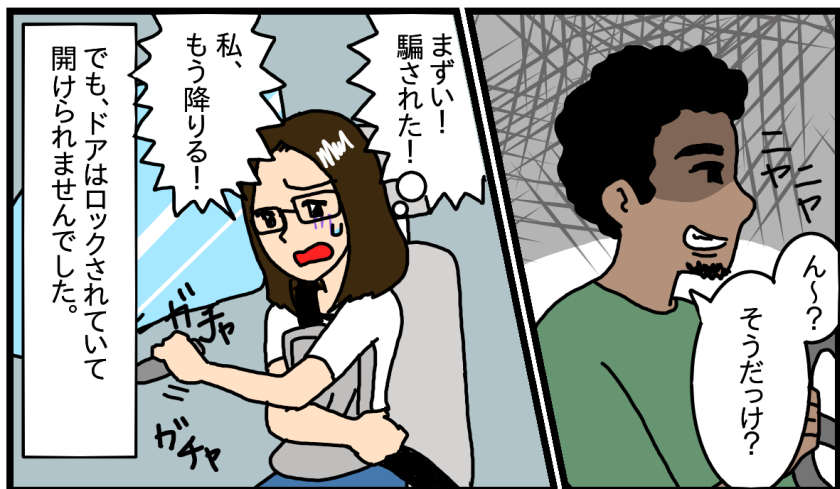
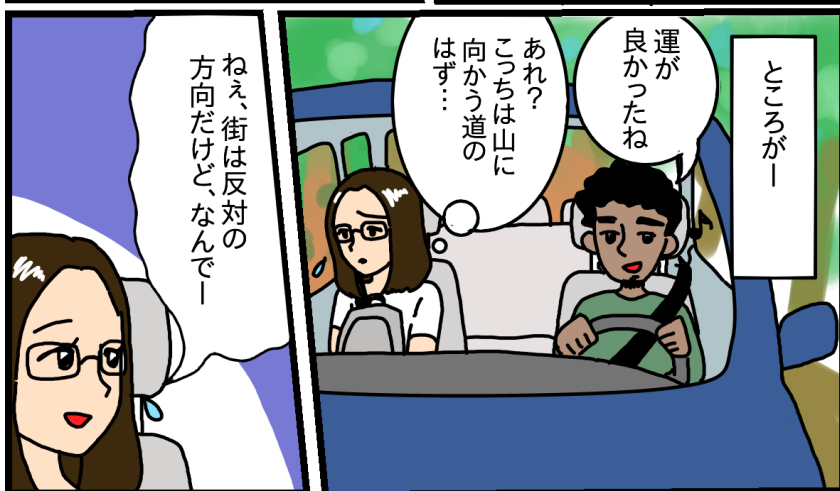
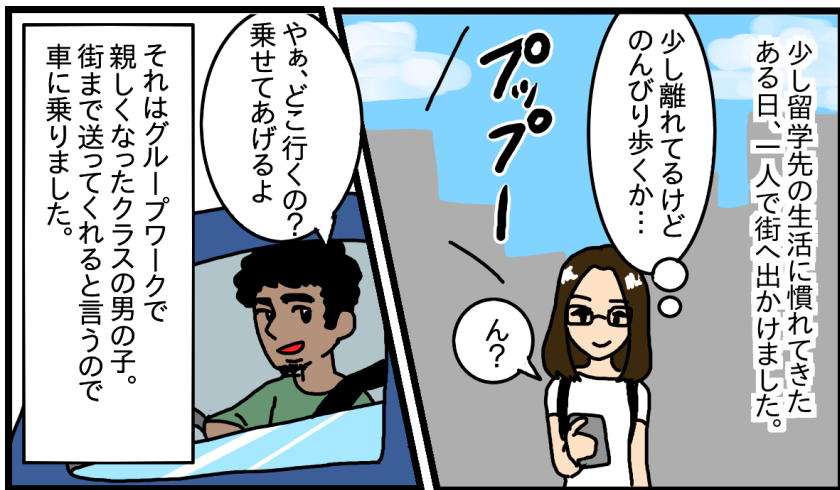
こちらの思いとは違って、友だちとしての付き合いを異性間の愛情と誤解されてしまうことは日本人同士であってもありますね。留学直後はまだ友人が少なくても、慣れてくるにつれて交友関係が広がって、親しく付き合う友人が変わってくることもあるでしょう。慣れない時期に親しくなった人にはつい、頼ってしまい、相手が誤解してしまうこともあるかもしれません。誤解していなくても淋しく感じてしまうかも。そんなことから怖い思いをすることも!

### ✓ チェックポイント

- ◆ 慣れない時期に親切にしてくれる友人は大切にしたいですが、なるべく大勢の人と付き合ように心がけましょう。
- ◆ 相手との関係で嫌な気分になったり、少し変だなと思ったら、相手に自分の気持ちを伝えましょう。
- ◆ このようなケースでは速やかに、アドバイザーや教員に伝えます。



### 3. 車に乗せてもらったら



街でナンパされたわけでもない、大学の授業と一緒に勉強している男子。留学直後は緊張していても、少し慣れて、親しく付き合うようになると、心を許してしまうのも無理ありません。いつまでも、警戒心ばかりでは、楽しく過ごせないのもわかります。この男子は、(本心はわかりませんが)、うまくいけばなんとか…くらいの気持ちだったのかもしれないですね。

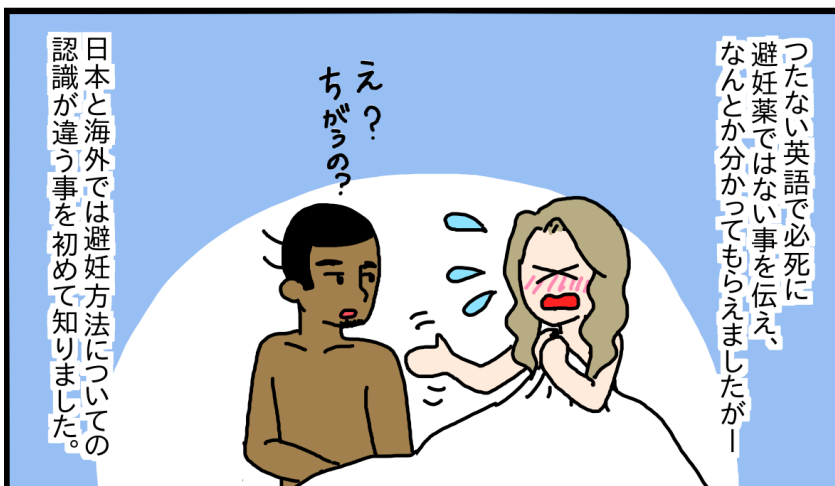
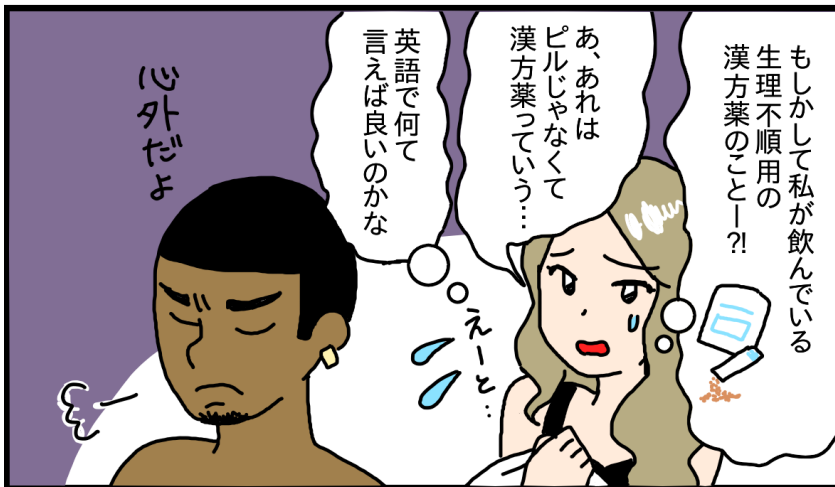
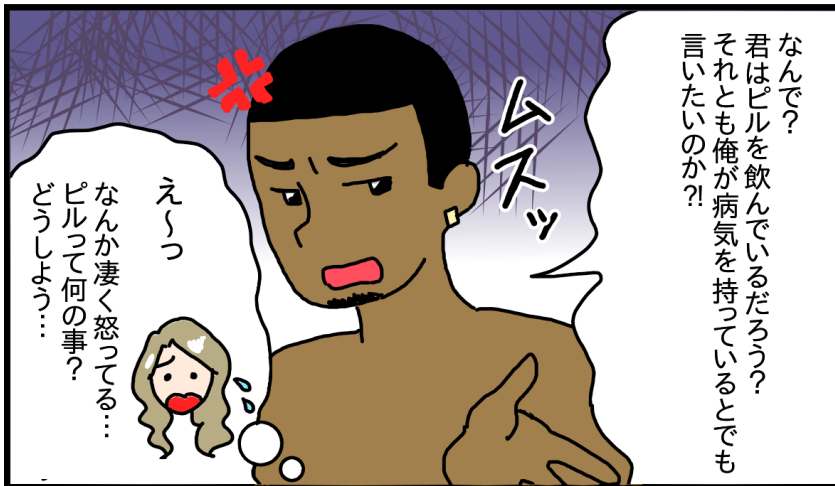
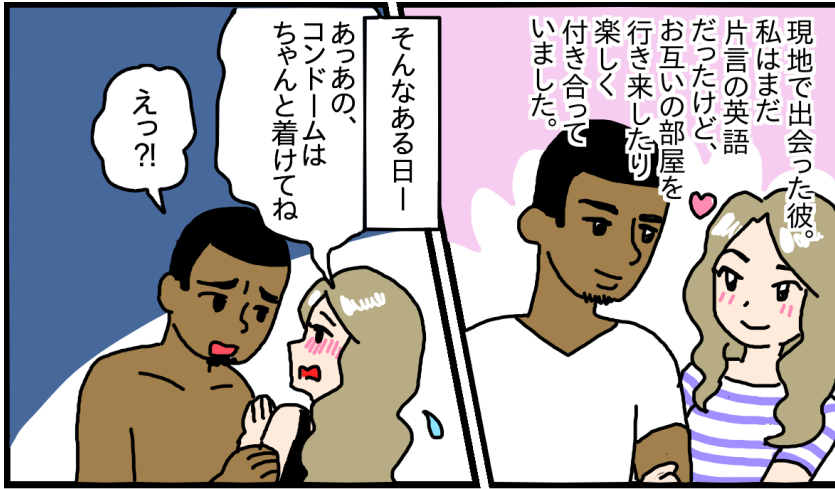
このケースでは、なんとかその場は切り抜けられたものの、知らない場所で降ろされてさらに怖い思いをすることになりました。

#### ✓ チェックポイント

- ◆ 知り合いでも異性と車で二人きりになるのは極力避けましょう。
- ◆ どうしても、乗らなければならない場合は、周りの人に「今から〇〇に車に乗せてもらって△△へ行く、××時ごろ帰る」ことを相手の目の前で伝えておきましょう。
- ◆ 携帯電話はすぐに使えるように持っておきましょう。



## 4. 彼に避妊（コンドーム）を頼んだら



現地で彼氏ができ、性交渉を持つこともあるかもしれません。もちろん、恋愛は自由ですが、望まない妊娠を避けることは、当初の留学の目的を達成するためにも不可欠ですね。

慣れないところで、相談相手も少ない中、妊娠や性感染症の不安を抱えることにならないようにしたいものです。

海外の多くの国ではコンドームは避妊具ではなく、性感染症予防具としてとらえられていることも覚えておくとよいですね。

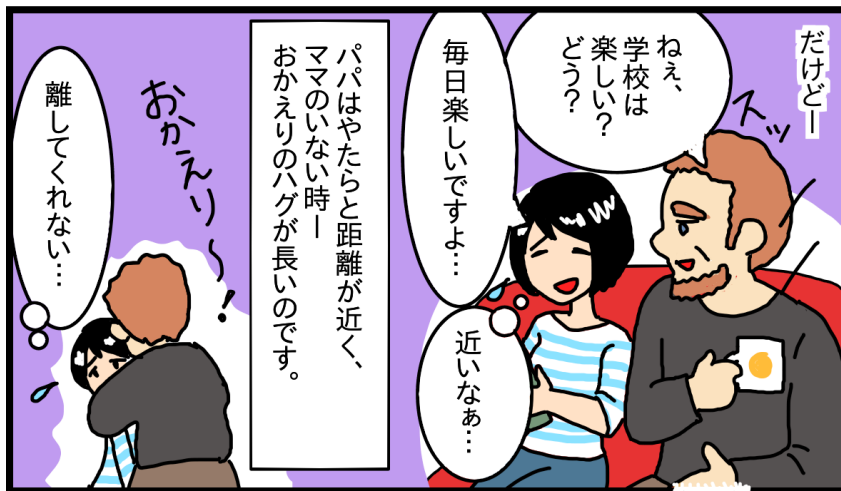
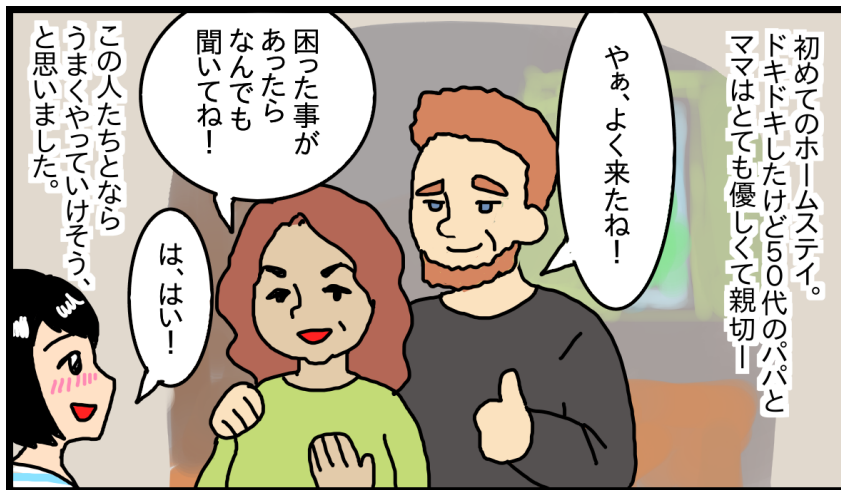
### ✓ チェックポイント

- ◆ 避妊や性感染症の予防について、パートナーとしっかり話し合しましょう。
- ◆ 話し合いに応じてくれないパートナーは本当にあなたを大切にしてくれているのか考えてみることも大切です。
- ◆ ピル(避妊薬)を飲んでいても性感染症は予防できません。





## 5. ホームステイ先のパパ



語学をマスターするにも、現地の文化や習慣に親しむにも、ホームステイはとてもいいですし、中には、帰国後も長い付き合いをしている人もいます。

もちろん、ホームステイ先のほとんどはよい人たちですが、中にはそうではない人もいて、最悪、このケースのように、セクシャルハラスメントのようなことも。関係性を壊したくない、良い言葉が見つからない、とためらっているうちに、相手の行為がエスカレートする危険もあります。

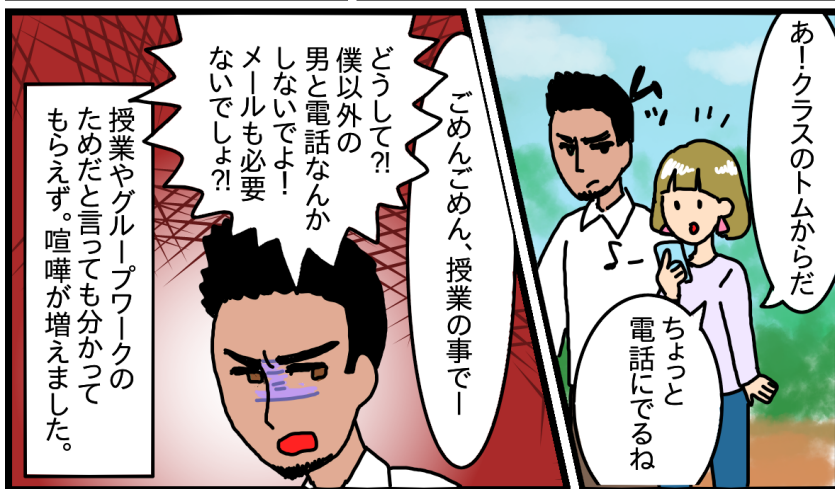
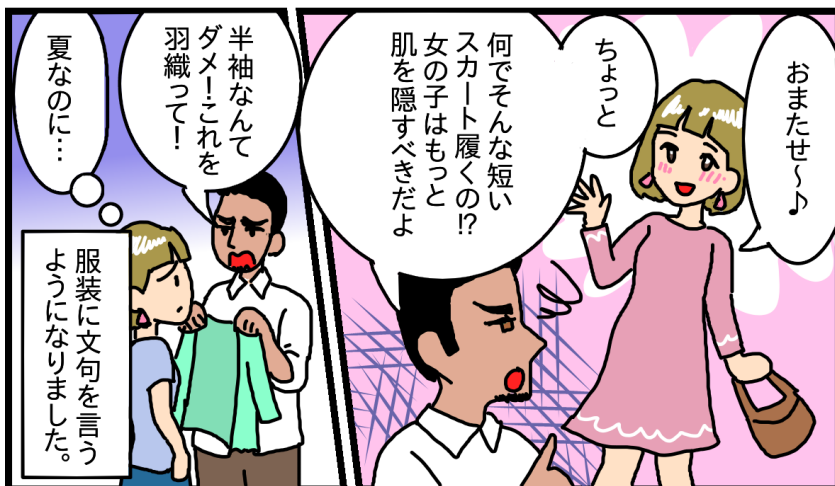
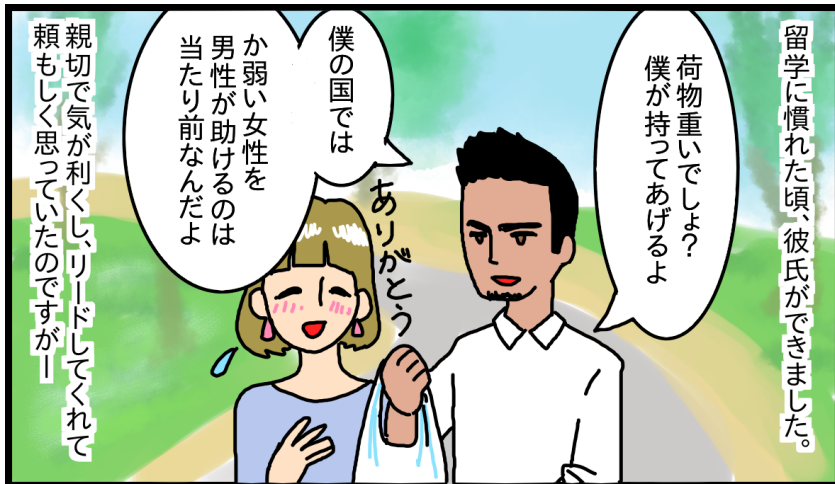
### ✓ チェックポイント

- ◆ 文化的な違いもありますが、個人的な感覚にも違いがあります。自分自身の違和感や不安、不快な気持ちに正直になってかまいません。
- ◆ 相手の行為を不快に感じたら、その気持ちを相手に伝えるようにしましょう。
- ◆ 伝えにくいとき、うまく表現できないと思ったときは、現地の留学アドバイザーなどに早めに相談しましょう。





## 6. どうしてこんなに束縛するの？



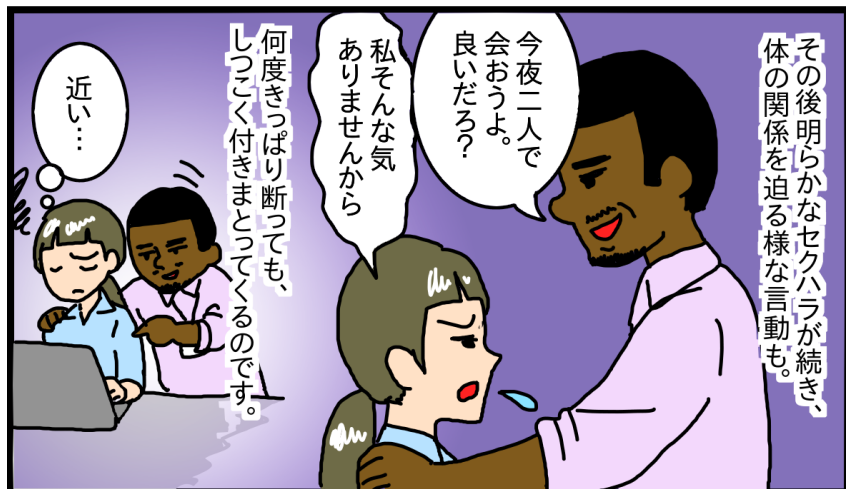
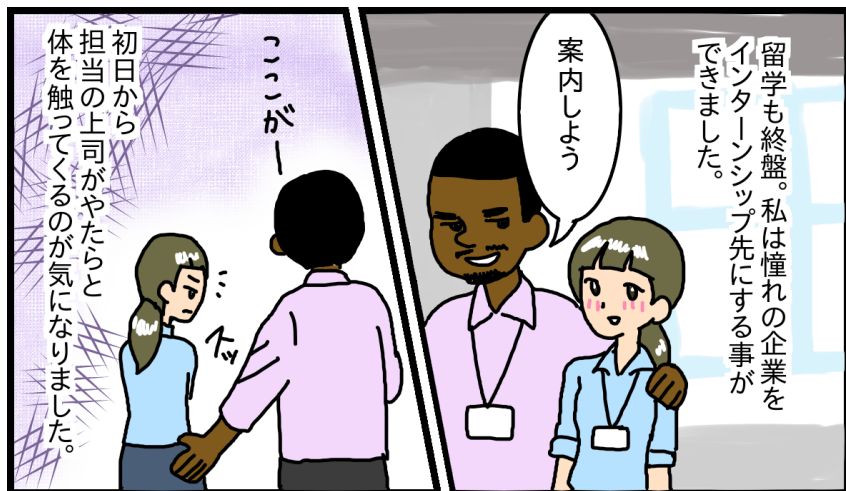
男女の服装や振る舞い、役割など、ジェンダーについての考え方は国・地域、文化によって、大きく変わります。異なるからこそ、おもしろい、魅かれる部分もあるのですが、一緒にいることで、自分の生活や自分らしさを脅かされるのは困りますね。相手はそれが当たり前、と思っているのですから、なかなか分かり合えないということも多いでしょう。お互いの当たり前を乗り越えて、より良い関係を築くには、根気強いコミュニケーションとお互いへの気持ちが必要になるのではないのでしょうか。

### ✓ チェックポイント

- ◆ 相手がなぜそのような言動をとるのか、よく聞き、自分の気持ちをしっかりと伝えましょう。
- ◆ 自分の生活を脅かすほどであれば、交際を考え直す必要があります。
- ◆ 怖いと感じるときにはためらわずに相談を。



## 7. 憧れのインターンシップで



将来の夢をもって憧れの場所でインターンシップを始めたら困ったことに。欧米ではパワーハラスメントに対する法整備や意識改革が進んでいると言われますが、全くないわけではありませんし、相手が日本人(アジア人)なら大丈夫だろうと思われることもあるかもしれません。低中所得国においては、残念ながらまだまだ起こりうるでしょう。このケースでは日本の教員にも理解されず悲しい思いをしました。日本の教職員のハラスメントへの理解も大切です。

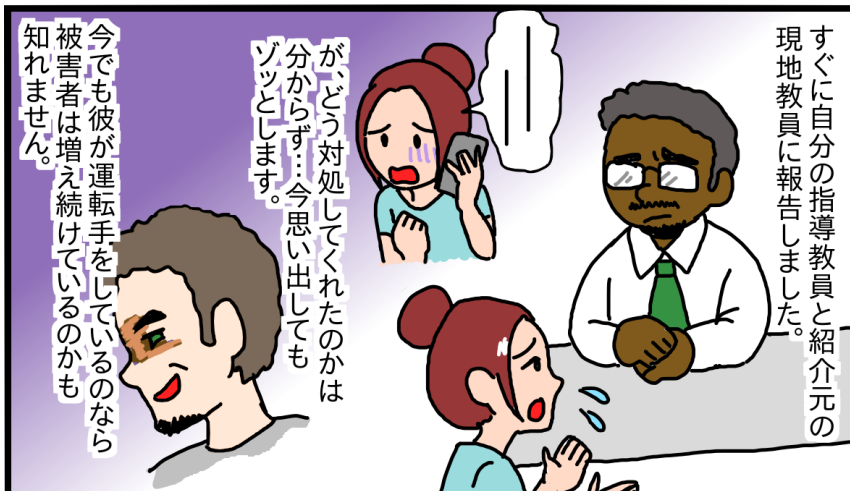
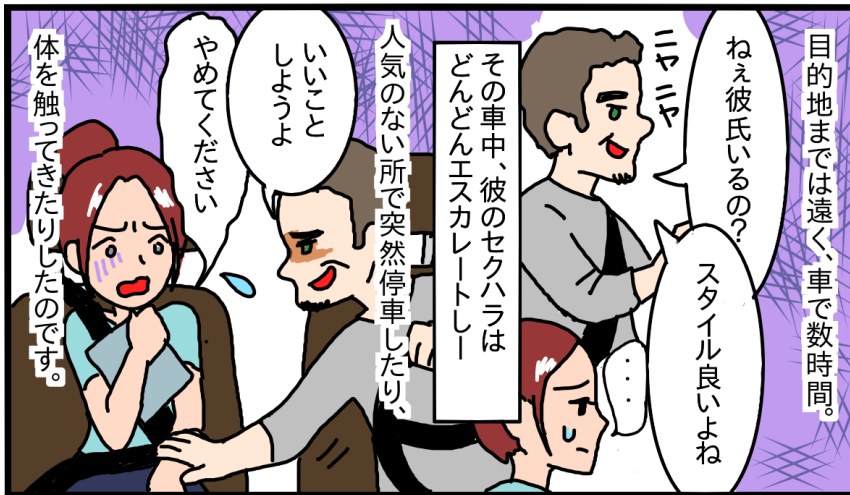
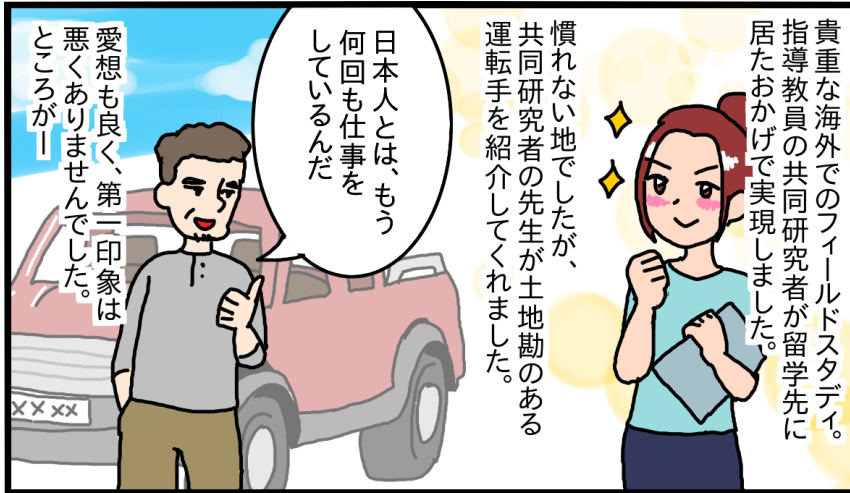


### ✓ チェックポイント

- ◆ 不快な行為は遠慮せずにしつかりと伝えましょう。
- ◆ 嫌なことを伝えてもハラスメントが続く場合は現地のアドバイザーや教員、エージェントなどに相談を。
- ◆ 相談のために、日時や内容を記録に取っておきましょう。
- ◆ 深刻な事態にならないうちにインターンシップ先(留学先)を変えるという選択も考えましょう。



## 8. フィールドスタディの現地スタッフ



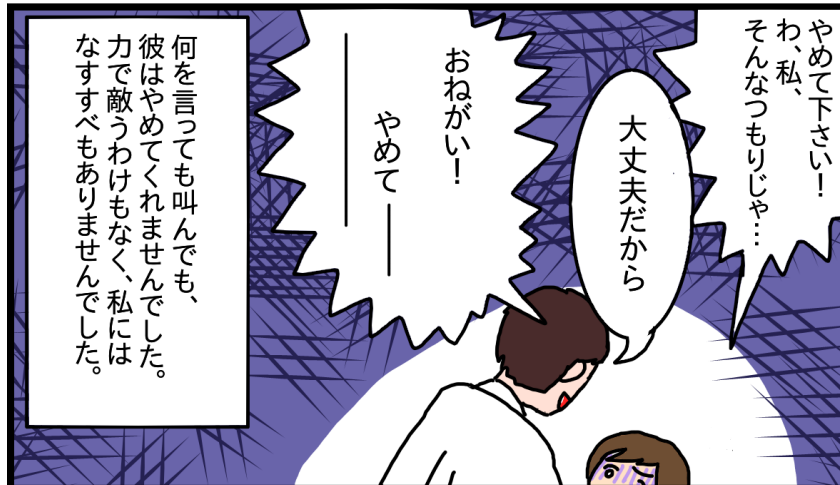
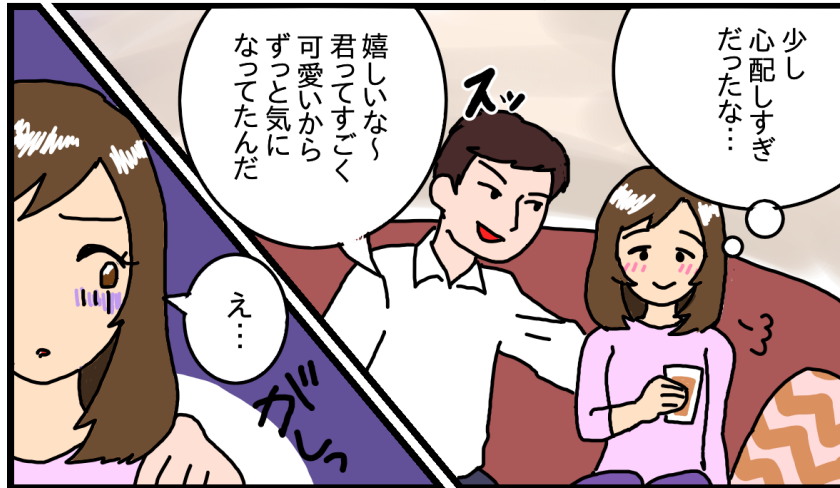
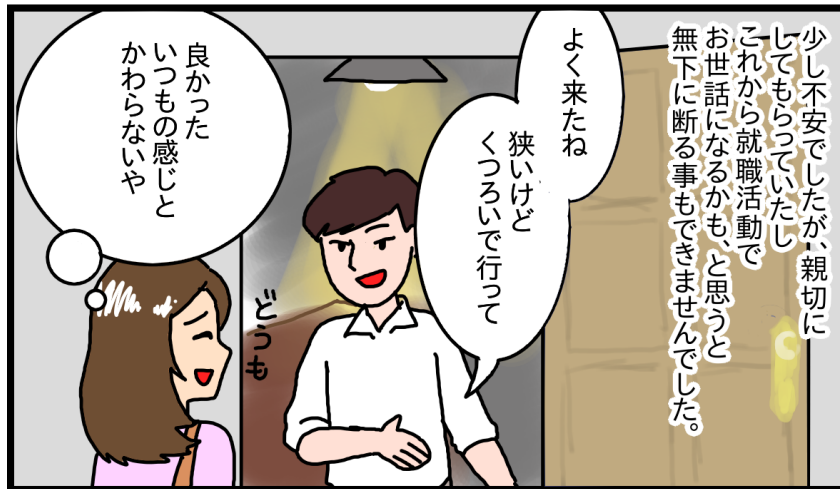
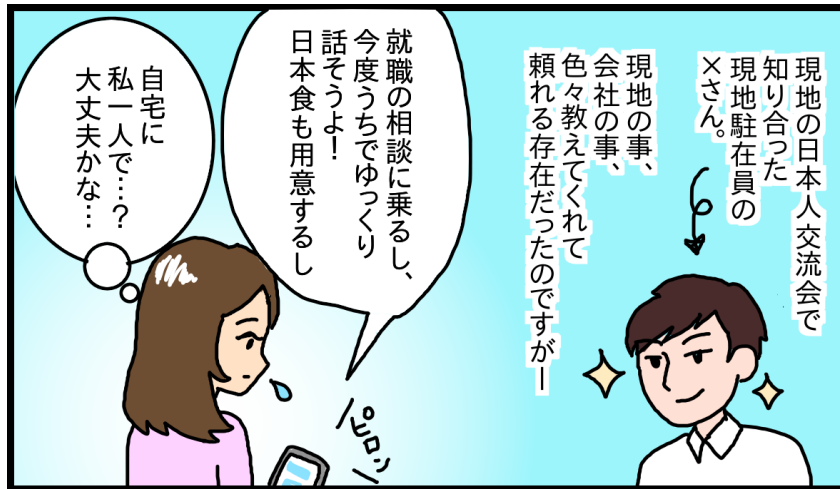
現地調査に単身で赴いた大学院生。紹介してもらったドライバーによるセクシャルハラスメントで怖い思いをすることになりました。大学の指導教員の紹介だったので安心して運転を任せたのに…。残念ながら、セクハラが横行している国もまだ多く存在します。おとなしい日本人は強く出れば大ごとにはしないと思っている人もいるかもしれません。このケースでは、指導教員に報告したのに、どの程度深刻に受け止めてくれたのかわからなかったようです。

### ✓ チェックポイント

- ◆ 嫌な行為には毅然とした態度で、きっぱりと拒絶しましょう。
- ◆ 二人きりになることが避けられない場合は、携帯電話をすぐに使えるようにしておきましょう。
- ◆ 指導教員に報告しても対処してもらえない場合は、ほかの教員やハラスメント相談窓口等に相談しましょう。
- ◆ 改善されない場合、フィールドを変更する、中止するなどの選択肢も。



## 9. まさかの敵は日本人～頼りになる相談相手と見たのに



慣れない土地、言葉の中で、日本人に会って話したり、現地生活のアドバイスをもらったり、日本食を食べたりすることはよくありますし、ホッとする時間になります。でも、日本人だからと100%信頼を置けるわけではありませんね。

海外の人と同じように、日本人もいろいろ。残念ながら社会的地位や肩書のある人だから大丈夫、とは限りません。でも…海外にいるとついつい日本人だと安心してしまいがちなのです。

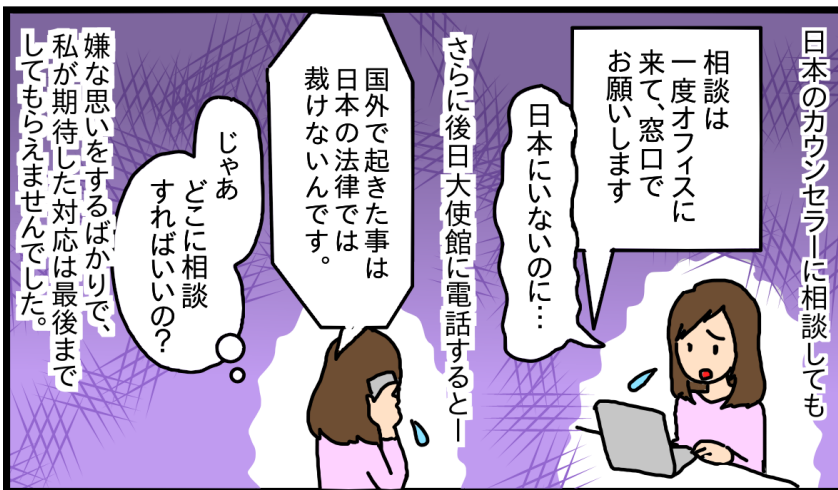
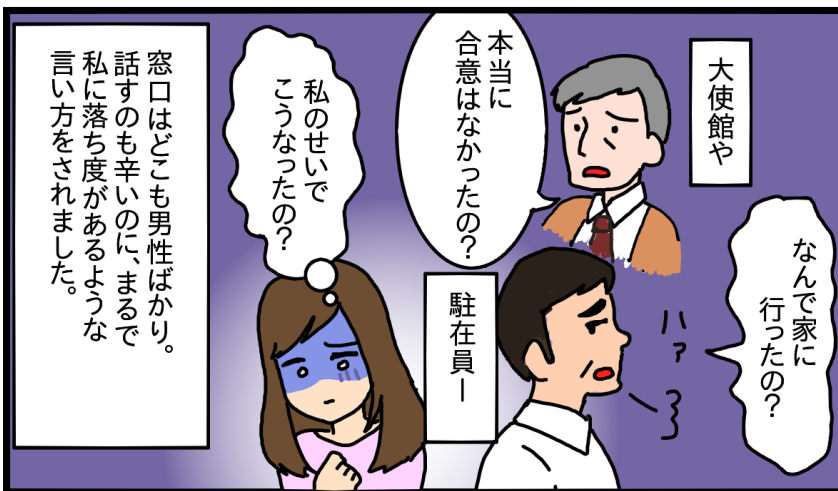
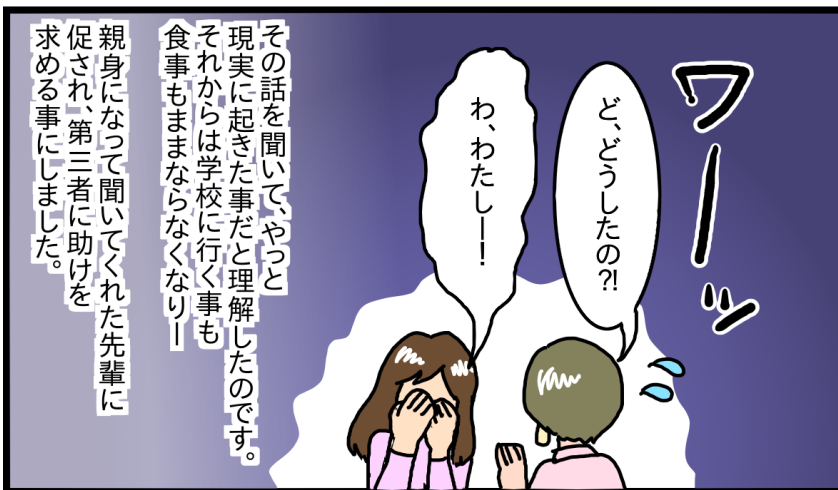
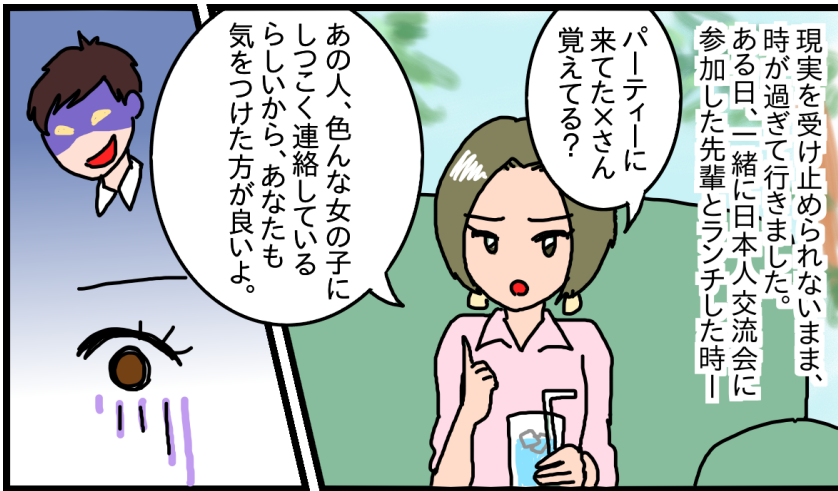
もちろん、悪いのは加害者です。でも、悲しい思いをしないために、注意するに越したことはありません。

### ✓ チェックポイント

- ◆ 相手が日本人だから大丈夫だとは限りません。
- ◆ なんか不安、大丈夫かな、という直感を信じましょう。
- ◆ 異性と二人きりで個室に入ることは避けましょう。
- ◆ 嫌な性的接触は、きっぱりと拒絶しましょう。
- ◆ どんなことがあっても悪いのは加害者。性被害にあった人が悪いわけではありません！



# 10. まさかの敵は日本人(その2) ~狭い日本人社会でセカンドレイプ



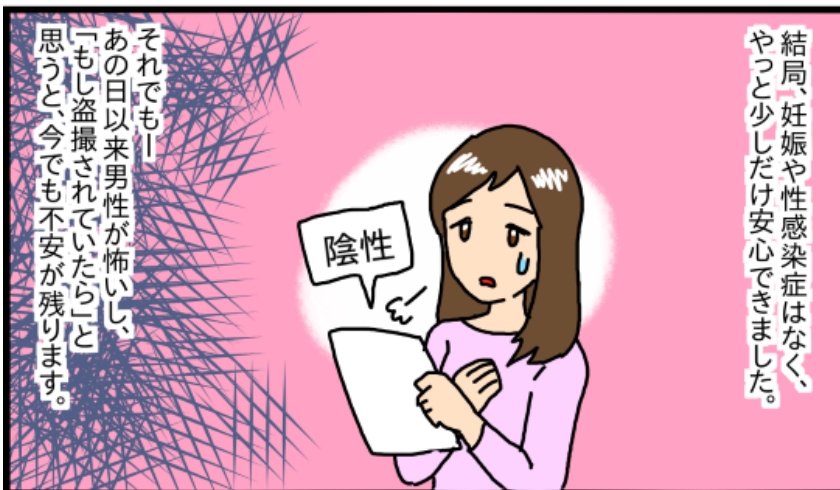
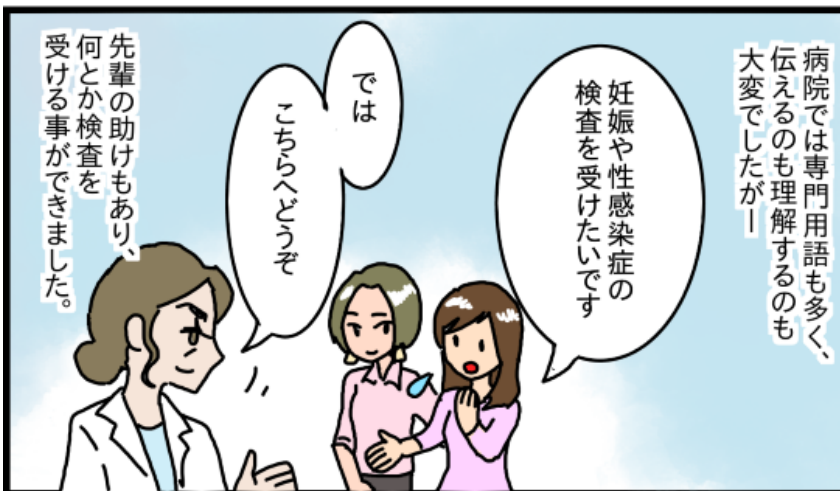
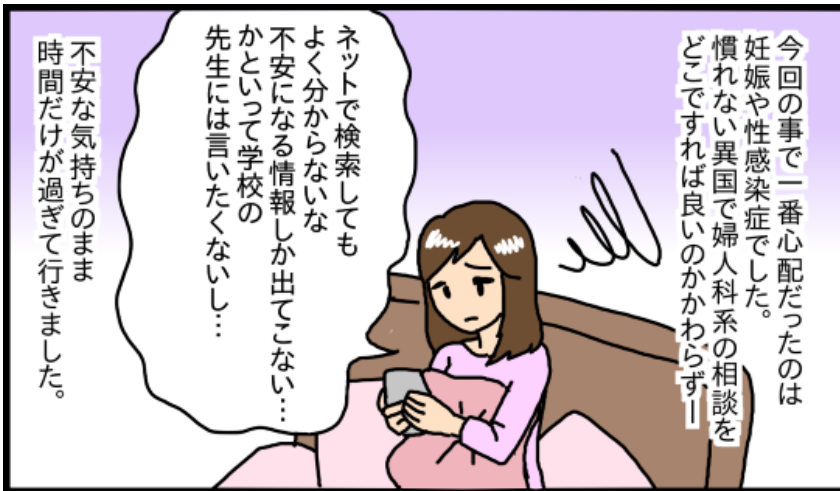
性被害を受けたとき、あまりのショックで現実を受け止められないことも多いようです。このケースでは、先輩の日本人女性に親身に聞いてもらって、助けられました。何かあった時、人に相談することは大切です。現地の日本人社会は狭いため、相談するのもためられることもあります。まして、勇気を出して相談したのに、自分が悪かったような反応をされるなんて、こんなショックなことはありません。これも日本社会の投影です。性被害者に対する対応がもっと被害者の立場に立って行われるように変わっていかねばなりません。



## ✓ チェックポイント

- ◆ 性被害を受けたとき…まずは身の安全を確保しましょう。
- ◆ できれば警察に通報しましょう。
- ◆ 早いうちに病院を受診することをお勧めします。
- ◆ 警察や病院へ行くのは敷居が高いかもしれません。もしすぐには行けなくても、やむを得ません。気持ちが落ち着いてからでも考えてみてください。まずはあなた自身の安全と心身の安定が第一です。
- ◆ 一人で抱え込まずに、身近な人(友だち、家族、アドバイザー等)に相談を。相談しにくい時は相談窓口へ(P.14)

# 11. まさかの敵は日本人(その3)～検査はどこで受けられる？



海外で病院にかかるのはただでさえハードルが高いうえに、産婦人科にかかるのはなかなか勇気がいられますね。妊娠や性感染症の相談をするのも、どこに行けばいいのかわからない、友だちにも話にくい…。でも、一人で悩んでいるより、誰かに相談することが大切です。この女性は頼りになる先輩がいて助かりました。このように、助け合う関係性がつくれるといいですね。



## ✓ チェックポイント

- ◆ 妊娠や性感染症の検査、緊急避妊薬の入手のためなるべく早く受診しましょう。あらかじめ滞在先の海外旅行保険が使える病院を調べておきましょう。
- ◆ 受診しなくても緊急避妊薬や妊娠検査薬の入手ができるところもあります。あらかじめ調べておくといざというとき役に立ちます。
- ◆ 誰かに聞いてほしい、だれにも相談できない、と思ったら、海外からもアクセスできる相談窓口へ(P.14)

# 相談窓口

からだや心の相談ができる窓口のリストです。

誰にも言えない、誰に相談したらよいかわからない時、悩んだことを一人で抱えずに、相談しましょう。

## 【オンライン・メールなどで相談できる窓口】

名称	対象・内容等	QRコード	名称	対象・内容等	QRコード
海外こころのヘルプデスク24時	海外在住者が、日本語でいつでも話ができる、オンライン上の相談デスク(Zoom)		デートDV110番	デートDVのことなら、どんなことでも相談できる電話・チャット相談窓口	
パソコンU30のためのメール相談	恋愛や性、こころ、からだ、関係性などの悩みや疑問についての若い人のためのメール相談		よりそいホットライン	だれでも利用できる電話、FAX、チャット、SNS相談窓口	
パソコンにんしんカモ相談	妊娠の不安を抱える人に、避妊や検査、支援先などの情報を自動応答で答えるLINEのチャットボット		あなたのいばしょ	1人で悩んで苦しんでいる人に寄り添うために、24時間365日利用できるチャット相談窓口	
Cure time	性暴力に関するメール相談		日本司法支援センター一法テラス	法的トラブルを抱えてしまったときの問題解決への「道案内」(電話・メール)	
BOND プロジェクト	10代20代の生きづらさを抱える女の子のための女性による支援(LINE・メール相談)				

## 【その他】

名称	対象・内容等	QRコード	名称	対象・内容等	QRコード
性暴力救援センター日赤なごや なごみ24hホットライン	性暴力被害者への心理的支援、医療支援・法的支援・生活支援		性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター	性犯罪・性暴力に関する相談窓口	



女子大生が海外留学中に遭遇したトラブル  
～楽しく安全な留学生活を送るために～

企画・編集・執筆： Women's Happy Study Abroad  
女性の健康で安全な留学を支援する研究会  
橋本秀実 大西真由美 柳澤理子

漫画・ページデザイン： 的場春香

発行： 同志社女子大学看護学部 橋本秀実

印刷： あおぞら印刷

発行：2023年3月